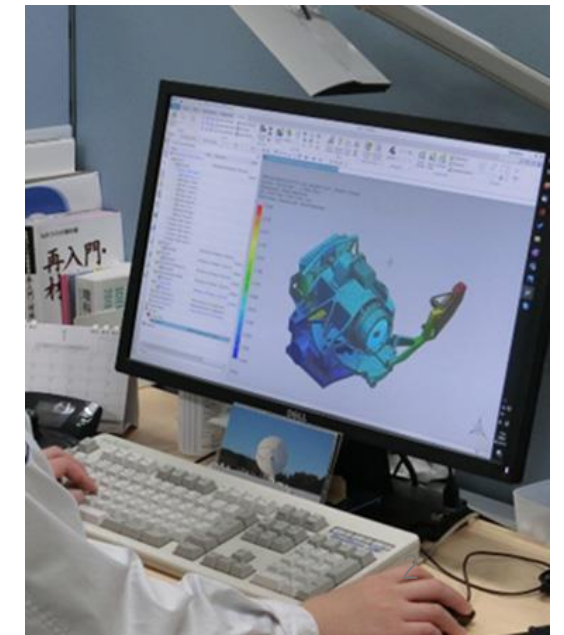
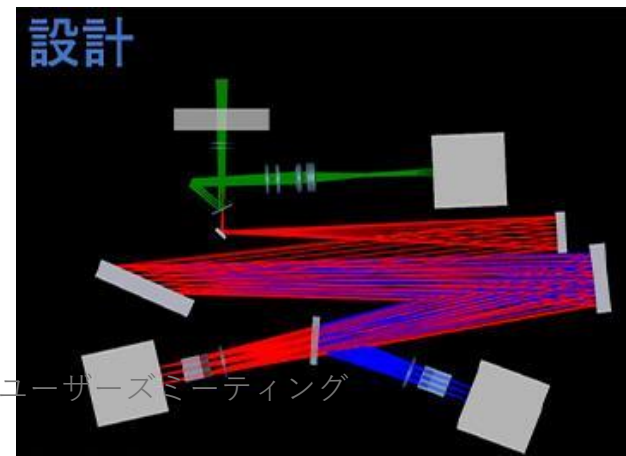
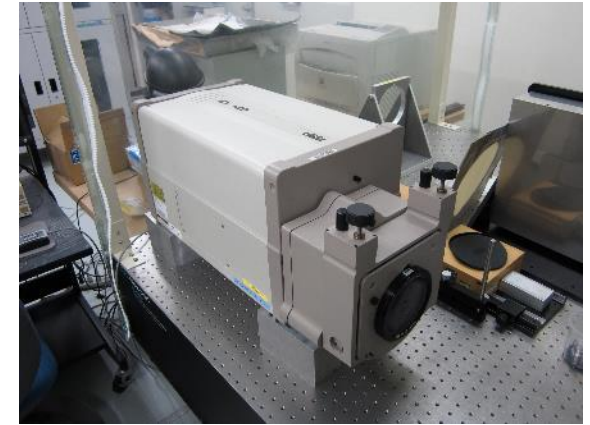


ATC共同利用報告

共同利用委員長 尾崎忍夫

共同利用に供している設備・サービス

- 設計
- 製造
- SISクリーンルーム内設備（しばらく共同利用停止）
- オプトショップ
 - 各種測定機器
- スペースチャンバーショップ
 - 真空チャンバ
 - 恒温槽
 - など



ATC共同利用概要

- 2つのカテゴリー
 - ATC共同開発研究：先端技術センターの職員と協力して行う研究開発
 - ATC施設利用：先端技術センターの設備あるいは実験室の利用
- 期間

応募開始を半月ほど早めて採否
連絡を早める予定

	前期	後期
応募期間	2月	9月
利用期間	4月1日～次年3月31日	10月1日～次年9月30日

オプトショップについては随時申請を受付けます。

緊急の要望については別途対応いたします。緊急である理由と前回公募に応募しなかった理由を添えてご相談ください。

複数年度にわたる開発については、1年毎に申請をしてもらう。

申請時の注意点 1

- ホームページのお知らせを読んでください。



ホーム / 共同開発研究・施設利用について

先端技術センター(ATC: Advanced Technology Center)では、公的研究機関および大学を対象にして共同開発研究および施設利用の二つのカテゴリで募集を行っています。

- ATC共同開発研究：先端技術センターの職員と協力して行う研究開発
- ATC施設利用：先端技術センターの設備あるいは実験室の利用

詳細については[募集要項](#)をご覧ください。
緊急の要望については別途対応いたします。その他不明点等については、速速な下記受付にお問い合わせください。

<国立天文台 先端技術センター 共同開発研究・施設利用受付>
E-mail: atc-openuse (=at=)ml.nao.ac.jp (=at=)を@に変更してください。

お知らせ

1. 建物内への出入りと施設の利用について

先端技術センター(ATC)は、2024年2月より入構登録が必要です。事前に登録を行い、承認されていないと建物には入れませんのでご注意ください。詳細は下記問い合わせをお願いします。

E-mail: atc-visit (=at=)nao.ac.jp (=at=)を@に変更してください。

2. 循環冷却水について

開発棟1号館・2号館の循環冷却水システムは、2024年度に改修工事が入るため、10月～3月に停止される予定です(変更があった場合は、分り次第、共同利用ユーザーのメーリングリストに回覧するとともに、WEBにも記載します)。冷却水が必要な装置を動かす場合は、電源や揚力も含め、テラー設備等の持込検討をお願いします。

3. 4月以降の薬品の取り扱いについて

ATCでは、薬品管理や運用を厳格に行うため、外部ユーザーへの薬品の提供を中止しました。ATCで薬品を使用する場合は、すべての薬品について持ち込み申請が必要です。薬品の管理等は、法令や天文台三鷹キャンパス薬品取扱要項に準拠した対応が必要となります。また、廃液については持込された方・グループ・組織において、費用負担を含めた対応が必要です。薬品に関する詳細については受付後に説明いたします。

4. SISクリーンルームの利用について

アルマ2対応のため、SISクリーンルームの受け入れは非常に難しい状況です。ご利用希望の方は、関係者にコンタクトを取り詳細を打合せの上、申し込みたいください。

5. 液体ヘリウムの供給について

液体ヘリウムの価格急騰と入手困難性から、ATCでは液体ヘリウムを購入しないことに決定しました。今後、液体ヘリウムの供給はできませんのでご注意ください。

お知らせ

1. 建物内への出入りと施設の利用 について

先端技術センター(ATC)は、2024年2月より**入構登録が必要**です。事前に登録を行い、承認されていないと建物に入れませんのでご注意ください。登録方法などの詳細は下記にお問い合わせください。

E-mail : atc-visit (= at =) nao.ac.jp (=**at**=)を@に変更してください。

2. 循環冷却水について

開発棟1号館・2号館の循環冷却水システム工事は終了しました。不具合等がありましたら、共同利用受付まで連絡をください。

3. 2024年4月以降の薬品の取り扱いについて

ATCでは薬品管理や運用を厳格に行うため、外部ユーザーへの薬品の提供を中止しました。ATCで薬品を使用する場合は、**すべての薬品について持ち込み申請が必要です。薬品の管理等は、法令や天文台三鷹キャンパス薬品取扱要項に準拠した対応が必要**となります。また、**廃液については持込された方・グループ・組織において、費用負担を含めた対応が必要**です。薬品に関する詳細については受入後に説明いたします。

光学素子の洗浄によく使用されるIPAやアセトンは第2種有機溶剤に分類されており、使用に際しては、環境測定、作業者の特殊健康診断、有機溶剤作業主任者の有資格者による指導等が必要となります。

有機溶剤中毒予防規則

4. SISクリーンルームの利用について

来年度、SISクリーンルームは大規模な設備改修のため使用が大幅に制限される上、使用可能な期間もアルマ2開発のために占有せざるをえない状況です。このため2025年度前期から当面の間、SISクリーンルームの共同利用の受付は行わないことになりました。苦渋の判断ですが、ご理解いただければ幸いです。今後、SISクリーンルーム関連の施設を利用される場合は、アルマプロジェクトとの共同研究という形で受け入れる見通しです。SISクリーンルームの利用に関するお問合せは下記に連絡ください。

連絡先：alma-sis_reception (= at =) ml.nao.ac.jp (=at=)を@に変更

5. 液体ヘリウムの供給について

液体ヘリウムの価格急騰と入手困難性から、ATCでは液体ヘリウムを購入しないことに決定しました。今後、液体ヘリウムの供給はできませんのでご注意ください。

6. 台内ネットワークへの有線接続について

国立天文台外の方が構内ネットワークに有線接続される場合は、国立天文台の情報セキュリティルールに従って頂く必要がありますので、必ず事前にご相談ください。

7. その他

現在、コロナに限らず様々な感染症の発症が見受けられます。皆様に置かれましては、お互いのためにも今後も感染リスクを可能な限り低減するような対策を取りつつご利用ください。ご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。

申請時の注意点 2

- 設計および機械工作については事前に相談してください。

募集要項のWEBページ

7. 利用可能設備・サービスと問合せ先

設計および機械工作については、事前に相談をお願いします。

- ② 設計 ⇒ [システム設計グループ \(atc-sdg_contact \(=at=\) ml.nao.ac.jp\)](mailto:atc-sdg_contact(=at=)ml.nao.ac.jp)
- ② 機械工作 ⇒ [製造設計グループ \(atc-machine \(=at=\) ml.nao.ac.jp\)](mailto:atc-machine(=at=)ml.nao.ac.jp)
- ② 光学測定機器 ⇒ [オプトショップ \(atc-opto \(=at=\) ml.nao.ac.jp\)](mailto:atc-opto(=at=)ml.nao.ac.jp)
- ② 真空チャンパー ⇒ [スペースチャンパーショップ \(atc-space \(=at=\) ml.nao.ac.jp\)](mailto:atc-space(=at=)ml.nao.ac.jp)
- ② 特殊蒸着、その他 ⇒ [\(atc-openuse \(=at=\) ml.nao.ac.jp\)](mailto:atc-openuse(=at=)ml.nao.ac.jp)

申請方法

- 2024年度後期にフォームを利用した方式に変更した。
 - 利用者リストはエクセルファイルで提出してもらったが情報が分かれているので管理しにくい。
 - 利用者の追加などの変更に対応するのが難しい
- 2025年度前期から従来のエクセルファイルでの申請に戻した。



審査

- 審査方針

- 共同開発研究を優先します。
- 技術開発として価値のあるものを優先します。
- ATC施設利用・共同開発研究の成果が学術論文に反映しているプロジェクトを優先します。
- 国立天文台内の申請については、国立天文台プロジェクトに直接関わるテーマを優先します。

- 審査員

- 共同利用に関わる各部署・委員会（光赤外、電波、設備、製造、設計、実験室運用委員会）から選出された代表者各1名で構成される。
- 申請内容に応じて委員長が審査担当者を割り当てる。（2024年度後期より）
- 共同利用委員長・設備代表は全ての申請の審査をする。

- なるべく受け入れる方針だが、リソース不足のため受け入れられないものもある。

提出書類

5. 各種様式

提出時には各ファイル名の先頭に申請者の氏名を加えてください。

- ▶ (a1) 申請書 [excel]
- ▶ (a2) 案件シート [設計用]
設計の申し込みをする場合は、この案件シートも提出してください
- ▶ (b) 成果報告書 [word]
- ▶ (c) 化学薬品使用届 [word | pdf]
- ▶ (d) 高压ガス使用届 [word | pdf]

実験スペース

- 共同利用期間は1年だが、ここには実験スペースを利用したい全期間を記入して欲しい。
 - 数年先までの実験室の利用予定を把握しておきたい。
- 共同利用申請は1年ごとの継続申請を出す。
- ATCの実験室は逼迫しています。

利用希望設備(インフラ)			
<input type="checkbox"/>	実験スペース	スペース	_ × _ m ²
<input type="checkbox"/>		期間	_年_月_日 ~ _年_月_日
<input type="checkbox"/>			100V, _A, _□

11

12

13

プロジェクトを通して利用を希望する全期間を記入してください

ネットワークへの有線接続

- 有線接続するとDHCPで台内LANにつながってしまう。
- 有線LANを使用するのは、どうしても必要なときだけにしてください。
 - 接続する場合は必ずATCに連絡してください。

申請書のチェック項目

<input type="checkbox"/>	ネットワークへの有線 接続	有 / 無
--------------------------	------------------	-------

利用計画

⑨利用計画：先端技術センターの設備・実験室等の利用計画(日程含む)を具体的に記入してください。また、工作依頼品の概要・利用する測定器・ソフト等についても記入してください。必要に応じて添付資料を提出してください。

(注意事項1)：とくに大物を搬入、設置する場合や工事が必要になる可能性がある場合は、必ず記入して下さい。とくに大型実験機器の設置については、付属機器も含めた大体の配置図等を添付して提出してください。

(注意事項2)：設計とSIS関連の申し込みをする場合は、別途案件シートの提出もお願いします。

(記入例)

2013年4月x日～ 実験機器セットアップ

2013年x月x日～ xxチャンバー搬入(重量100kg, サイズ1000x1000x1000mm)

2013年x月x日～ 機器設置工事

2013年x月x日～ セットアップ開始

2013年x月x日～ 実験開始

LN2 約100リットル/月使用. 昼夜運転有

2013年x月x日～ 観測所へ輸送

2013年x月x日 撤退予定

(記入例は消してから 記入してください。)

謝辞のお願い

b. 成果発表時のお願い

- 施設利用の成果を学会発表、学術論文などで公表する際は、謝辞等に国立天文台・先端技術センターの設備を利用したことを明記してください。
- ATC共同開発研究の成果を学会発表、学術論文などで公表する際は、原則として先端技術センター担当職員と共同研究者との共著とすることをお願いいたします。また、謝辞等に国立天文台・先端技術センターの設備を利用したことを明記してください。

ATCも他のプロジェクト同様に評価されています。

まとめ

- WEBにあるお知らせや注意事項を良く読んでください。
- 謝辞のお願い。